

「Japanese Saké (日本酒)」「Japanese Whisky」の輸出と

「フレンチワイン」「スコッチウイスキー」の輸出の、規模比較・成長推移 @2010 → 2025

	2010年輸出額 (対前年比)	...	2022年輸出額 (対前年比)	2023年輸出額 (対前年比)	2024年輸出額 (対前年比)	2025年輸出額 (対前年比)	総生産量に占める 輸出量の比率 @2025年	2010→2025 15年の 成長率
日本の ジャパニーズサケ	85 億円 +18.4%	...	475 億円 +18.2%	411 億円 ▲14%	435 億円 +6%	459 億円 +5%	(推定) 8%程度	5.4 倍
フランスの フレンチワイン	62.0 億€ +13.3%	...	116.1 億€ +10.2%	113 億€ ▲3%	109 億€ ▲3%	105 億€ ▲4%	(推定) 50%程度	€ベース 1.7 倍 円ベース 2.5 倍 (116.4円/€→169.0円/€)
英国の スコッチ ウイスキー	£34.5 億 +9.9%	...	£62 億 +37.5%	£56 億 ▲10%	£54.0 億 ▲4%	£53.6 億 ▲1%	(推定) 90%以上	£ベース 1.6 倍 円ベース 2.3 倍 (135.6円/£→197.25円/£)
日本の ジャパニーズ ウイスキー	17 億円 +10.7%	...	561 億円 +21.7%	501 億円 ▲11%	437 億円 ▲13%	490 億円 +12%	(推定) 7%程度	29 倍

source: FEVS, French Association of Wines and Spirits Exports The Scotch Whisky Association 財務省貿易統計

上のスライド:かつて日本酒のグローバル度はワインとは比較にならなかったが、今では誰もが「世界で日本酒をワインのように」と考えるようになった。2012年の日本醸造協会誌掲載の拙稿「成長期にある SAKE と SHOCHU」(「J-Stage・喜多常夫」で検索可能)で、日本酒輸出とフランスワイン輸出の数値比較を書いたが、これが初めての具体的な清酒・ワイン比較論だったと思う。当時は、焼酎輸出の成長も予想していた、焼酎輸出とスコッチウイスキー輸出との数値比較も書いたが、残念ながら焼酎輸出は伸びず、その代わりに日本ウイスキーが大きく伸びた。日仏英の4種の代表酒類の輸出金額を表にしたのが上のスライドである。フレンチワイン・スコッチウイスキーの背中はまだ遠いけれど、15年間で日本酒・日本ウイスキーのグローバル度はずいぶん上がったことが数字で確認できる。2025年は日本酒も日本ウイスキーも前年比増と報じられるが、実は過去最高だった**2022年水準以下**であることもわかる。

下のスライド:21世紀に入って、世界中で日本食レストランの数が急激に増えた。近年は農水省が2年に一度、軒数を公表しているが、直近の2回の公表で、2つの減少局面があった。特に「2023年から2025年、**中国で15,200軒減少(!)**」は驚き。「2023年8月の福島原発処理水放出の影響」というより、「中国経済の変化」なのかもしれないが、日本酒輸出先は中国がトップ(2021年以降5年連続、金額でトップ)であることを考えると、特別に留意すべきである。上下に並べた2つのグラフで一目瞭然だが、21世紀1Qでは、「日本酒輸出」には「**日本食レストランの呪縛**」(「日本食レストランの数」と明確な相関関係)があった。21世紀2Qでは、非日本食レストランや家庭需要への日本酒の浸透がカギになるのは明らかである。なお、2026年は世界的なウイスキー需要減少局面だが、日本ウイスキーには日本酒のような「日本食レストランの呪縛」がない分、チャンスがある。注目株の「緑茶」(話題の「抹茶」も含むので**2025年輸出額721億円、前年比98%増(!)**)なども、いまや日本食レストランの呪縛がない輸出品となった。(text = t.kita)

「日本食レストラン」増加と「日本酒輸出」増加 @21世紀1Q

